

事業区分
金銭給付

平成28年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		自転車安全利用促進					所管	都市づくり部 交通対策課		
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	70	計画事業名	自転車のセーフティ利用促進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					[事業開始] 平成27年度 [終了予定] - 年度			
		[小 柱] (1)暮らしを支える都市基盤の充実								
		[施 策] ①都市基盤の充実								
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区自転車安全利用促進条例					
	事業対象	区内の自転車利用者								
	事業目的	ルールの徹底やマナーの向上、点検整備と保険加入の促進により、自転車の安全利用を促進する。								
	事業内容	1. 自転車のルールまたはマナーの普及啓発 2. TSマーク(点検整備された自転車に貼る保険付きのマーク)取得費用助成 3. 自転車安全利用促進キャンペーン								
委託の有無	一部委託		委託内容	自転車安全利用促進キャンペーンの式典用舞台等設置作業、スクエアドストリート実施等。						
補助金の有無	なし									
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度		
	活動指標	TSマーク取得費用助成件数		件	3,000	-	-	1,198		
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)						-	-	3,253	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)					-	-	6,416	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)					-	-	1,087	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)					-	-	2,167	
		総経費					-	-	9,670	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)					-	-	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)					-	-	0	
一般財源(区負担額)					-	-	9,670			
前回評価から改善した事項	なし									
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由								
	必要性	4	区内では自転車に関与する事故の割合が高い状況が続いているため、平成27年10月に自転車安全利用促進条例を施行し、自転車の安全利用をこれまで以上に推進している。							
	効率性	3	上野駅前前で条例施行に合わせて、スクエアドストリートやトークショーによるキャンペーンを実施する等、効率的に普及啓発を行ない、安全利用を促進した。							
	手段の適切性	4	TSマークの助成事業は、区内の自転車協力店と連携することにより、区民に広く周知され助成件数が多い結果となった。							
目的達成度	4	TSマーク助成事業により、点検整備と賠償保険が付与された、安全な自転車が区内を走行している。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性			
自転車の安全利用を促進するため、普及啓発を継続的に行う必要がある。							維持	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		